

2020年2月期 通期決算説明資料

株式会社アルバイトタイムス

2020年7月9日



連結業績の概要

2019年3月1日～2020年2月29日



通期の業績(PL)

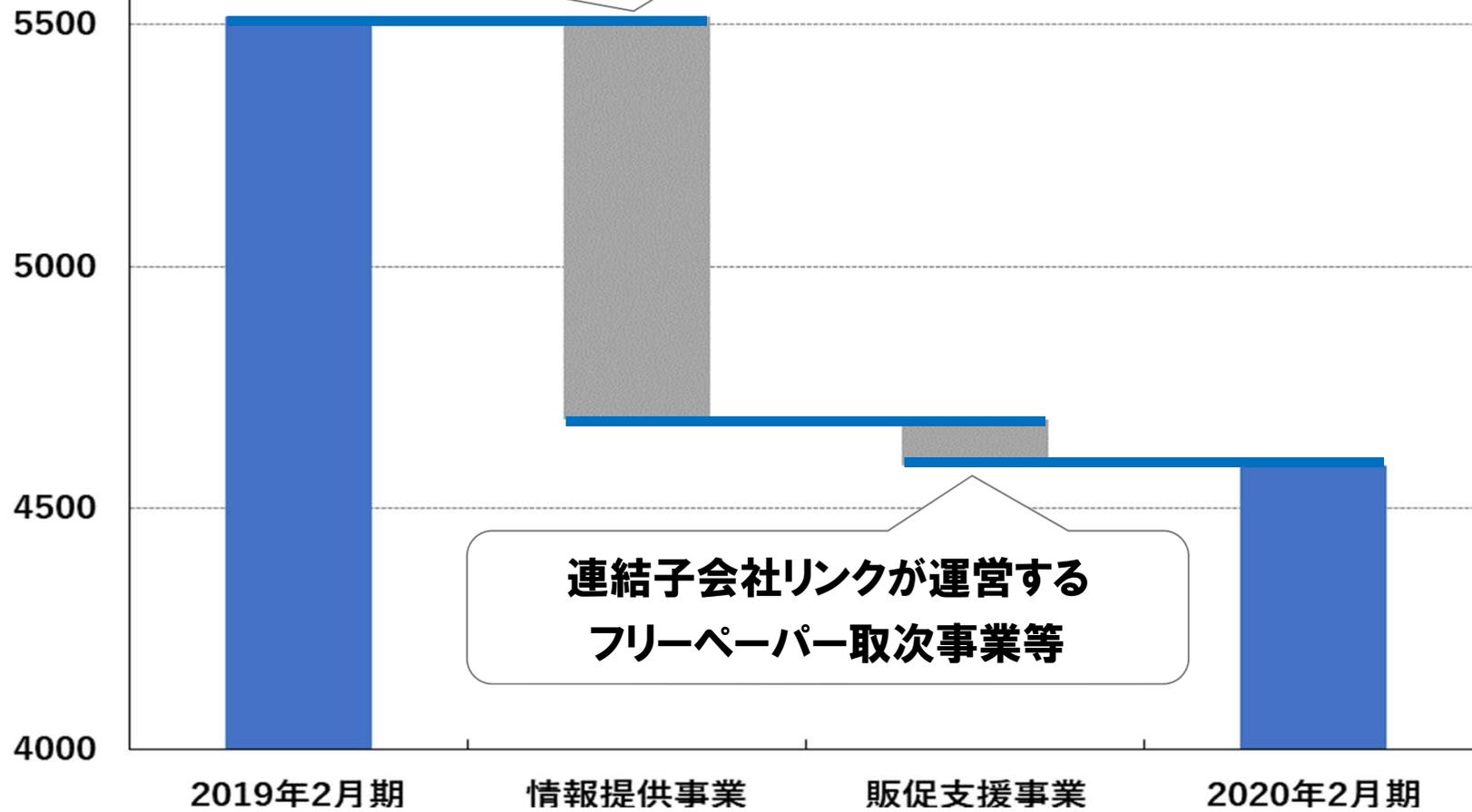
金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	2020年2月期		2019年2月期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	4,550	100.0	5,469	100.0	△919	△16.8
売上原価	1,480	32.5	1,678	30.7	△197	△11.8
印刷費	478	10.5	626	11.5	△148	△23.7
労務費	196	4.3	201	3.7	△5	△2.7
その他売上原価	806	17.7	849	15.5	△43	△5.1
売上総利益	3,069	67.5	3,791	69.3	△721	△19.0
販管費	2,879	63.3	3,236	59.2	△356	△11.0
人件費	1,500	33.0	1,636	29.9	△136	△8.3
広告・販促費	581	12.8	623	11.4	△42	△6.8
流通費	204	4.5	398	7.3	△194	△48.8
その他販管費	594	13.1	577	10.6	16	2.9
営業利益	190	4.2	554	10.1	△364	△65.7
経常利益	224	4.9	564	10.3	△340	△60.2
税金等調整前	212	4.7	532	9.7	△320	△60.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	174	3.8	366	6.7	△191	△52.3
EPS	¥6.62		¥13.88			



セグメント別売上高(内部取引消去前)

(単位:百万円)

主力事業の『DOMO』・『DOMO NET』・『JOB』・『ワガシャ de DOMO』等



連結子会社リンクが運営する
フリーペーパー取次事業等

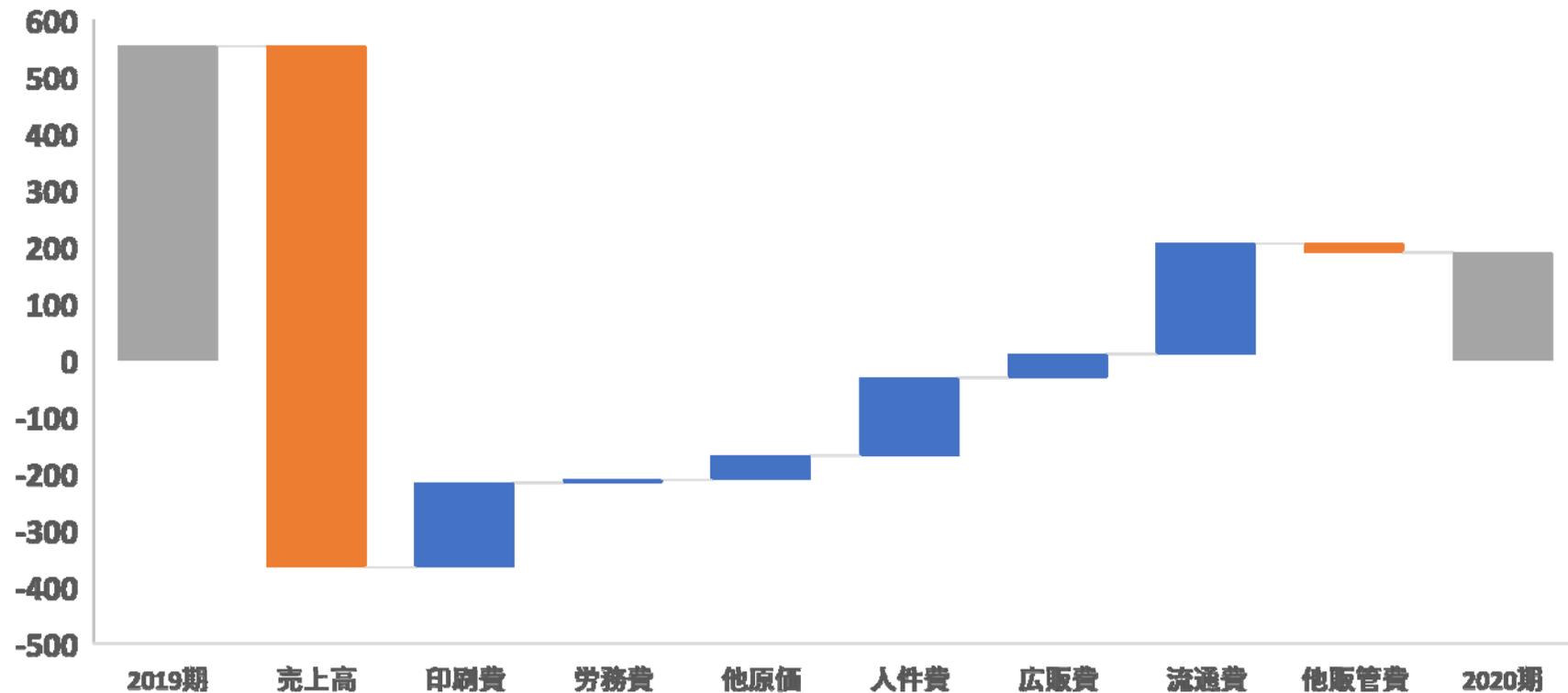
営業利益の増減要因

費用最適化により営業利益の増益を確保

営業利益増減要因

(単位:百万円)

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



当期末の業績(BS)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%		2020年2月末		2019年2月末		前期末比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
	流動資産	4,811	85.3	5,019	85.2	△208	△4.1
	固定資産	828	14.7	870	14.8	△41	△4.8
	資産合計	5,639	100.0	5,889	100.0	△249	△4.2
	流動負債	629	11.2	869	14.8	△239	△27.6
	固定負債	—	—	—	—	—	—
	負債合計	629	11.2	869	14.8	△239	△27.6
	資本金	455	8.1	455	7.7	—	—
	資本剰余金	540	9.6	540	9.2	△0	△0.0
	利益剰余金	5,085	90.2	5,095	86.5	△9	△0.2
	自己株式	△1,076	△19.1	△1,076	△18.3	—	—
	株主資本	5,005	88.8	5,015	85.2	△10	△0.2
	その他包括利益累計額	4	0.1	4	0.1	0	7.9
	非支配株主持分	—	—	0	0.0	△0	—
	純資産	5,010	88.8	5,020	85.2	△10	△0.2
	負債・純資産合計	5,639	100.0	5,889	100.0	△249	△4.2
	BPS	¥189.82		¥190.19			



当期累計の業績(CF)

金額・増減額:百万円	2020年2月期	2019年2月期	前年同期比
	金額	金額	増減額
営業活動CF	44	602	△558
投資活動CF	△66	△55	△11
財務活動CF	△183	△184	0
換算差額	△0	△1	0
増減額	△206	361	567
期首残高	4,371	4,009	
期末残高	4,164	4,371	

➤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、税金等調整前当期純利益が212百万円、売上債権の減少額が65百万円、減価償却費が43百万円等となった一方で、法人税等の支払額が230百万円等となったためです。

➤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、無形固定資産の取得による支出が23百万円、有形固定資産の取得による支出が17百万円等となったためです。

➤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

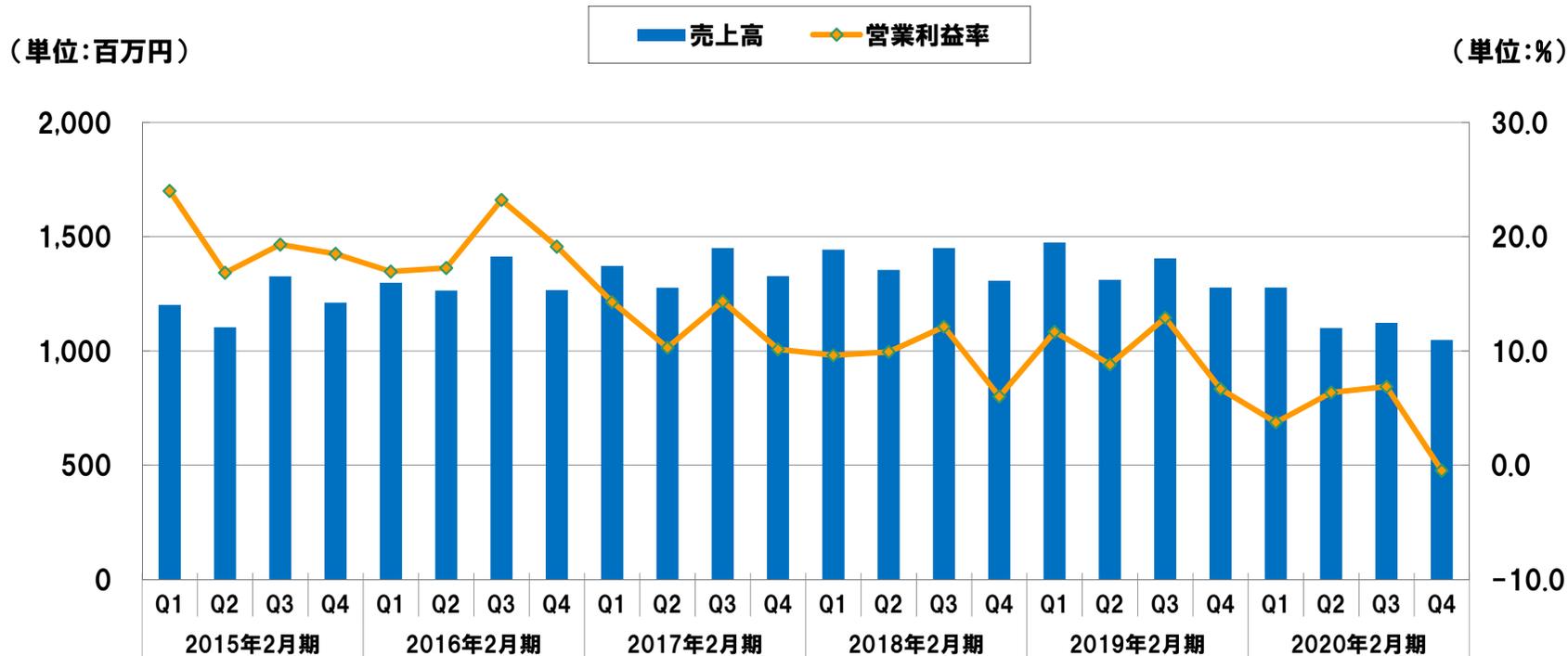
- ◆ 配当金の支払額が183百万円となったためです。

当期の総括

2019年3月1日～2020年2月29日



経営環境と業績推移



➤ 取り巻く環境と経営のあゆみ

- ◆ 平成21年2月期中に発生したリーマン・ショックにより大幅に業績が悪化、平成22年2月期に合理化策による収益構造の改善を実施し、平成23年2月期に黒字転換、国内景気回復の中で基盤事業のサービス強化および収益の安定化を推進し、安定的な利益を計上。当期は前期に投入した新エリア・新商品の育成のための費用増により営業利益率低下。
- ◆ 構造的な少子高齢化や働き方改革において、企業の採用ニーズの高まりや就業形態やスタイルが多様化している中で、地域に根差した人材マッチングの強みと展開エリアの拡大、グループの新たな柱となる事業への投資を継続しつつコストの最適化を図る。

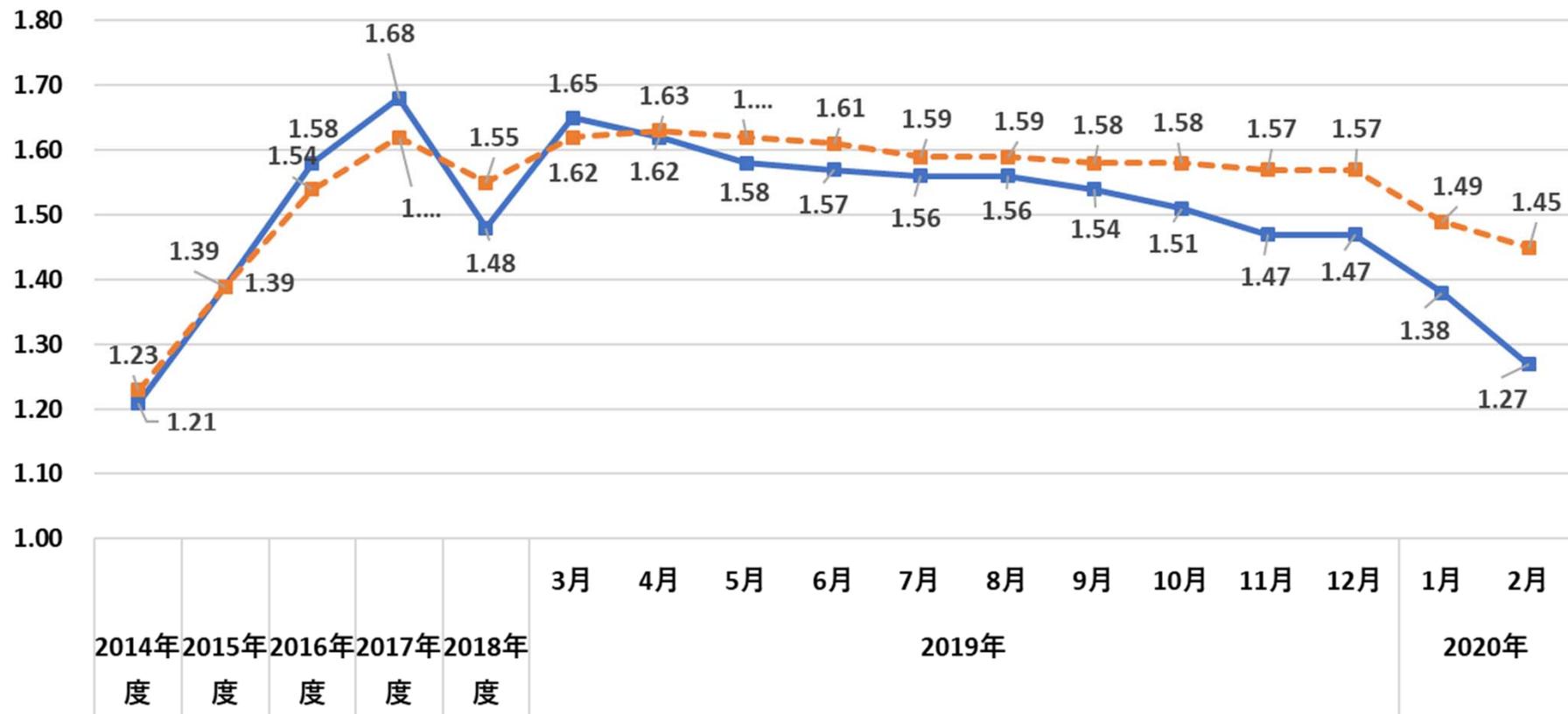
事業環境

有効求人倍率推移

(単位:倍)

■ 静岡県 - - 全国

出所:静岡労働局 雇用労働統計より当社作成



重点施策

求人サービスの選択強化と収益構造の見直し

➤ 個別多様な入職ルートに向けたサービス提供

＜リアルイベントの開催によるマッチングサービスの実施＞

- ・転職・就職イベント『シゴトフェア』、子育てママから転職・就職を希望する女性のための合同企業面談会『シゴトフェア Woman』を静岡県内、愛知県内で実施。
- ・日本国内のミャンマー人を対象にした人材マッチングイベント『ミャンマー Job Fair』を開催。

＜属性・業種に特化した特別版DOMOを発行＞

- ・シニアや女性、医療介護、ドライバー等の属性や業績に特化した特別版『DOMO』を発行

＜自社採用管理システム提供サービス「ワガシャ de DOMO」廉価版の投入＞

- ・2019年7月、利用顧客層拡大のため「ワガシャ de DOMO」廉価版の販売開始

➤ 人材紹介事業への投資による収入拡大及び成長サービスとしての育成

- ・営業力強化のため要員を投入。専用サイトをオープン。

重点施策

合併会社設立による愛知エリアの収益の最大化

➤ 販売エリアの拡大

名古屋市内、名古屋市内近郊及び西三河地域から愛知県内及び岐阜県主要地域へ販路拡大

➤ 競争環境の最適化及び原価の見直しによるコストコントロールによる収益の最大化

当社発行の新聞折込チラシ『DOMOリーフ』を休刊し、合併相手先の三光アド社が発行する市場シェア首位の『求人情報ビズ』を販売し、自社発行の求人誌『DOMO』、求人サイト『DOMO NET』を3点パックで販売

商号	株式会社BizMo(ビズモ)
所在地	愛知県名古屋市
設立先月	2019年5月7日
役員構成	代表取締役社長:代田 晴久
	取締役:石川 貴也
	取締役:平尾 丈
	監査役:尾上 正二
資本金	10百万円
出資比率	三光アド:80% アルバイトタイムス:20%
決算期	3月末
事業内容	主に愛知県、岐阜県における求人広告媒体を含む人材関連商品の販売及び提供
スケジュール	合併契約締結:2019年2月13日 営業開始:2019年6月

次期の方針、連結業績予想

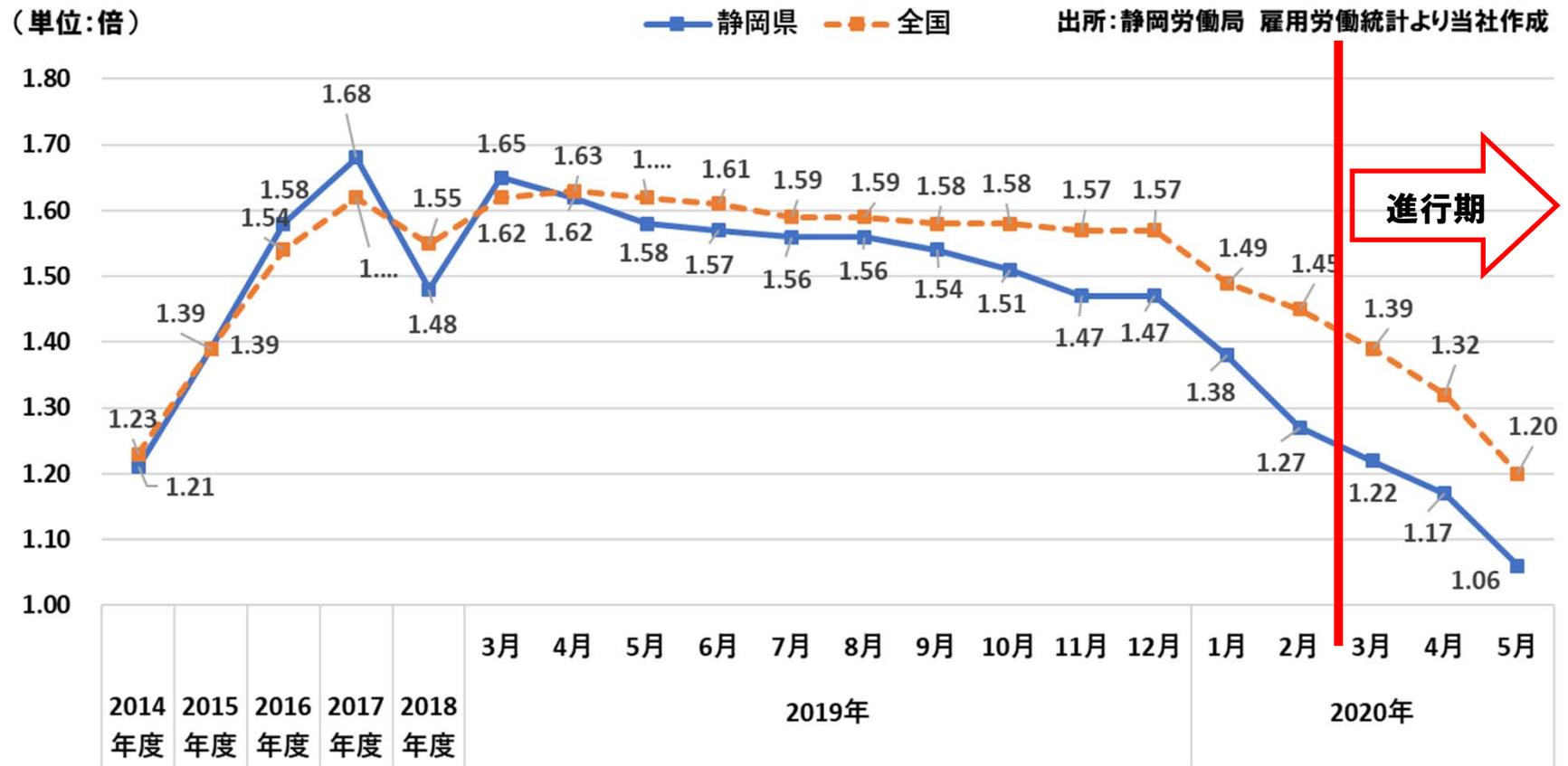
2020年3月1日～2021年2月28日



事業環境

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により雇用環境は急激な悪化

有効求人倍率推移

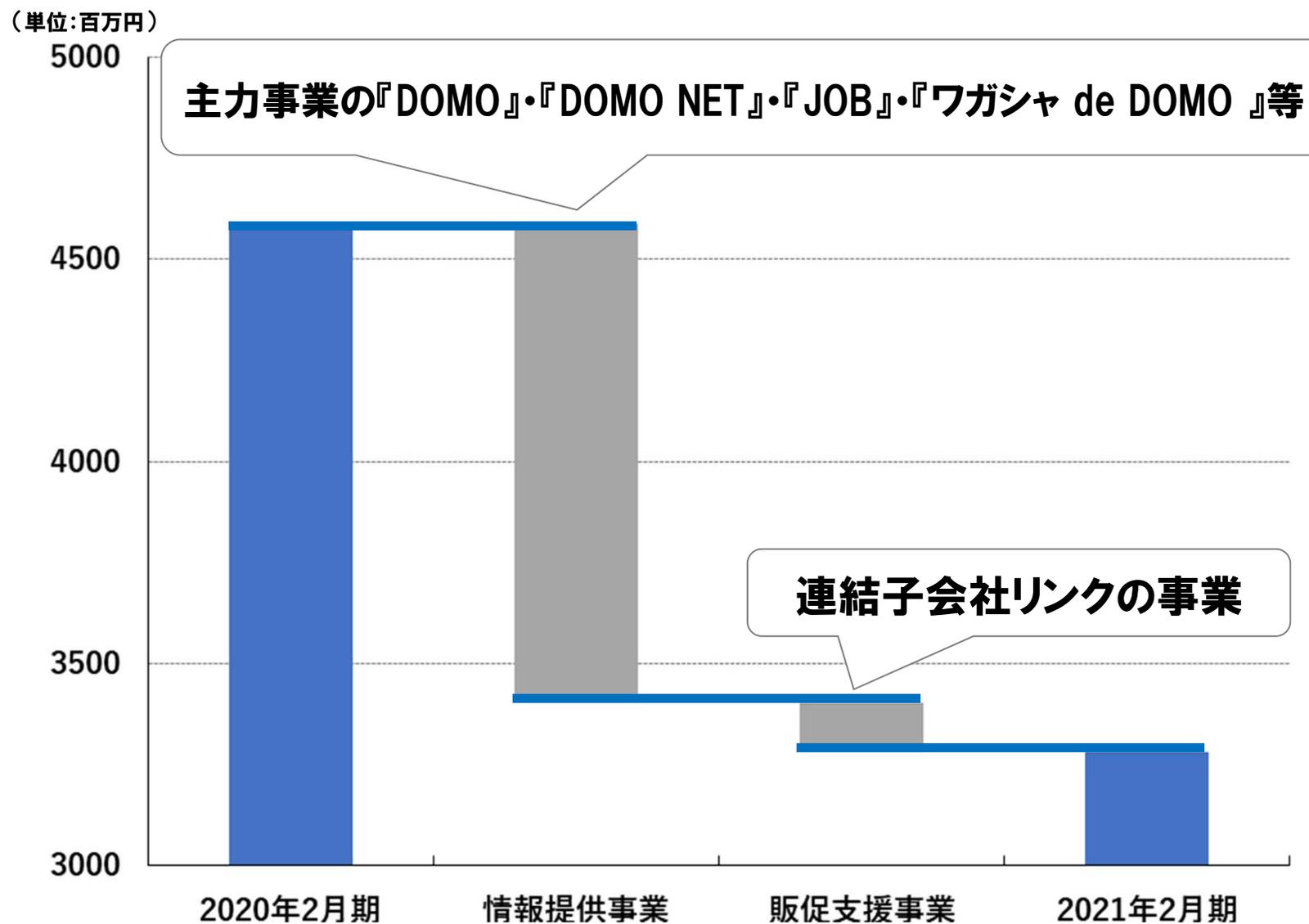


業績予想

コロナウイルス感染症による影響が上期まで継続し、緩やかに雇用環境が改善していく前提

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	2021年2月期		2020年2月期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	3,258	100.0	4,550	100.0	△1,291	△28.4
売上原価	1,291	39.6	1,480	32.5	△189	△12.8
印刷費	289	8.9	478	10.5	△188	△39.5
労務費	200	6.1	196	4.3	3	2.0
その他売上原価	801	24.6	806	17.7	△4	△0.6
売上総利益	1,967	60.4	3,069	67.5	△1,102	△35.9
販管費	2,647	81.2	2,879	63.3	△232	△8.1
人件費	1,529	46.9	1,500	33.0	29	1.9
広告・販促費	460	14.1	581	12.8	△121	△20.8
流通費	105	3.3	204	4.5	△98	△48.1
その他販管費	552	16.9	594	13.1	△41	△7.1
営業利益	△680	△20.9	190	4.2	△870	—
経常利益	△680	△20.9	224	4.9	△904	—
税金等調整前	△680	△20.9	212	4.7	△892	—
親会社株主に帰属する当期純利益	△680	△20.9	174	3.8	△855	—
EPS	△¥25.78		¥6.62			

セグメント別売上高(内部取引消去前)



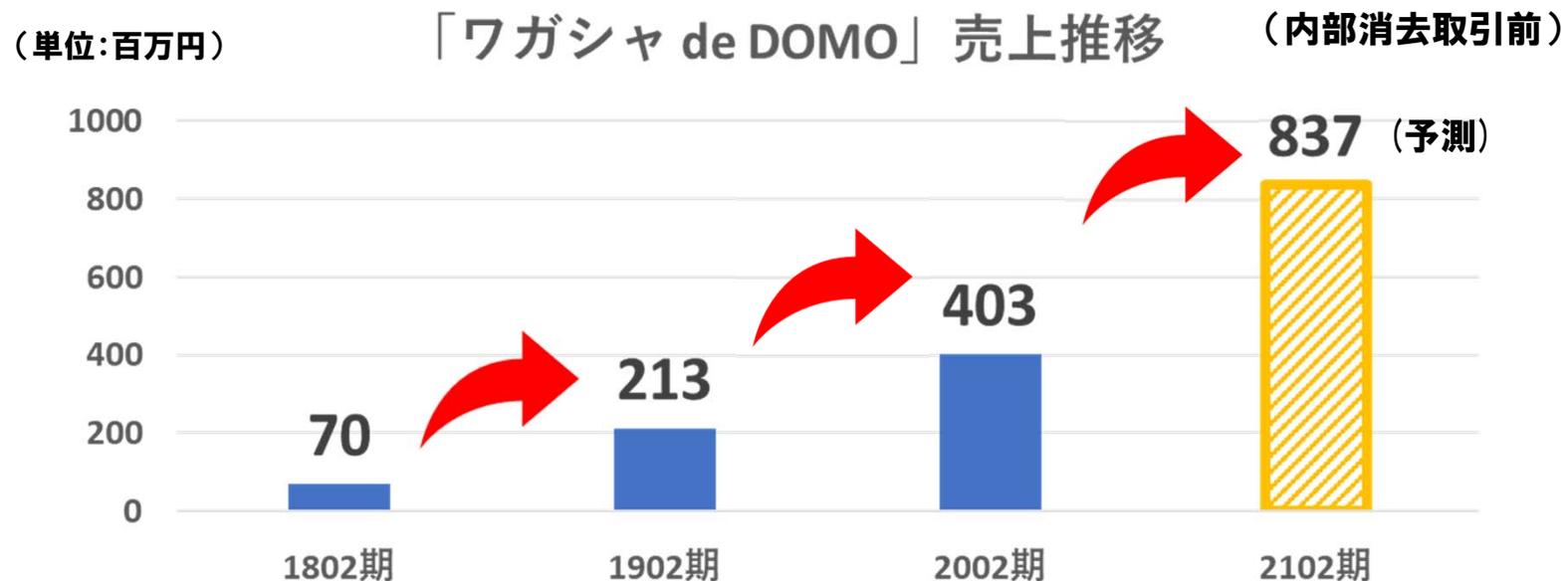
重点施策

オウンドメディア「ワガシャ de DOMO」の機能追加及び拡販

- 自社メディアとのコネク特追加によるオプションサービスの開発・販売
- 協業パートナーとの業務提携による販路拡大

ワガシャ de DOMO!

自社専用の採用サイトを簡単に作成できる
採用管理システム(ATS)



重点施策

売上減少に伴う徹底的なコストの見直し

- 紙媒体に係る直接コストである印刷費・流通費の見直し
- 求人情報サイトに係る広告宣伝費の最適化による圧縮

営業利益増減要因



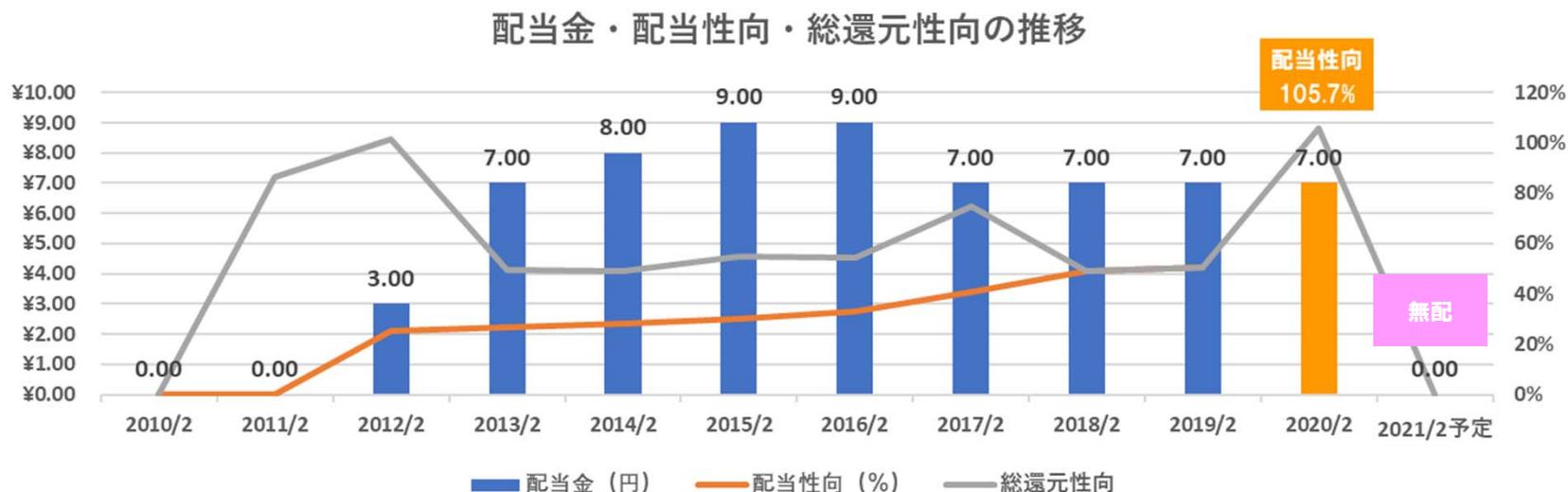
新型コロナウイルス感染症拡大による影響額及びコスト圧縮額

想定売上31.5%減少、想定営業利益892百万円の減少

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	2021年2月期		新型コロナウイルス感染症 拡大前作成計画		新型コロナウイルス感染症 拡大による影響額	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	3,258	100.0	4,756	100.0	△1,498	△31.5
売上原価	1,291	39.6	1,510	31.7	△218	△14.5
印刷費	289	8.9	456	9.6	△167	△36.6
労務費	200	6.1	214	4.5	△14	△6.8
その他売上原価	801	24.6	838	17.6	△37	△4.4
売上総利益	1,967	60.4	3,246	68.3	△1,279	△39.4
販管費	2,647	81.2	3,034	63.8	△386	△12.7
人件費	1,529	46.9	1,566	32.9	△37	△2.4
広告・販促費	460	14.1	726	15.3	△266	△36.7
流通費	105	3.3	124	2.6	△16	△13.2
その他販管費	552	16.9	616	13.0	△65	△10.7
営業利益	△680	△20.9	212	4.5	△892	—
経常利益	△680	△20.9	211	4.4	△891	—
税金等調整前	△680	△20.9	211	4.4	△891	—
親会社株主に帰属する当期純利益	△680	△20.9	152	3.2	△833	—
EPS	△¥25.78		¥5.77			

株主還元

次期は最終利益が損失見込みのため無配とさせていただきます。



当社グループは、中長期的な企業の競争力の強化と成長力の維持を可能とする投資を最優先事項と捉えています。そのため、内部留保金並びにフリー・キャッシュ・フローにつきましては、新規事業向けを中心とした投資に充当し、グループとしてのさらなる成長を図ります。

一方で、株主の皆様に対してはその投資によって得られた成果、つまり連結業績に連動した利益配分を行っていくこととし、具体的には連結配当性向50%を目処に配当を行う方針です。

当期の配当につきましては、1株当たり7円の期末配当を予定しております。次期の配当につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に起因する市況の悪化から配当原資のもととなる親会社株主に帰属する当期純利益が大幅な損失見込みのため、無配とさせていただきます。

免責事項

本資料に掲載されている、アルバイトタイムスグループ(株式会社アルバイトタイムス及びその子会社・関連会社;以下「当社グループ」)の予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、本資料作成時において入手可能な情報から得られた当社グループの経営陣の判断に基づいています。

しかし、業績予想の数値は実際の業績と異なるリスクを内包していることにご注意ください。当社グループは、常に最新の情報提供に努めますが、実際の業績は、業績予想以後に実際に生じる市場動向、経済情勢、消費動向、社内事情等の影響を受ける等の事情により、当社グループの経営陣が予想した数値と大きく異なることもあり得ます。



連絡先

株式会社アルバイトタイムス コーポレート本部 経営企画部

TEL:03-3254-2501

FAX:03-3254-2444

E-MAIL:ir@atimes.co.jp

住所:101-0043

千代田区神田富山町5-1 神田ビジネスキューブ8F

HP:<http://www.atimes.co.jp>